

おれんじの屋根

施設長より



「家族のような存在」



しょうぶの里は、昨年、開設20年を迎え、開設当時からいた人たちは、利用者さんも職員も20年来のおつき合いとなります。利用者さん同士、あるいは利用者さんと職員は、本当のご家族よりも長い時間を一緒に過ごす“同居人”であり、“擬似的な家族”のような存在でもあるでしょう。

Sさんは先月から体調をくずして入院をされていました。入院が長引くにつれ、相部屋のMさんが、「Sさんがおらん、さみしか」と言われるようになりました。「Sさん、いつもどつてくる?」とも。退院の前日、「明日、退院します。」との説明に、「おれも(迎えに)行こうとる」と。MさんとSさんは、いつもはそんなに仲良くさせてはいないように見えてましたが、同室の仲間のことをしっかり心配して、1日も早く戻ってきてほしいという思いを出されていました。

3月中旬、Sさんは12日間の入院生活から戻って来られました。戻って来られたSさんを、玄関で利用者さん、職員みなでお出迎え。口々に「おかえり」「よかった」と言い、拍手も起きました。その中で、嬉しさのあまり涙ぐむMさんを見て、私も胸が熱くなりました。

利用者さんと本当のご家族よりも長い時間を一緒に過ごす私たち職員は、家族のような存在でありたいと思っていますが、利用者さんたちも、まさに同じ思いだったのだと思います。

集団での生活で、“いつも・みんなが・仲よく”、ということは難しいかも知れません。中には、あんまり集団での生活が好きではない人もいますし、どうしても相性のよくない人もいます。また、他の人の存在がわずらわしいときもあれば、一人になりたいときもあるでしょう。

ですが、仲間と長い生活の中で互いを思いやり、1人でも欠けていると大丈夫だろうか心配する、みんな揃ってのしょうぶの里での生活。仲間がいるということは本当に素晴らしいことだと、改めて思いました。

令和4年の幕開けと同時に爆発的に感染拡大した第6波は、3月中旬を迎えても、連日400~800人の新規感染者が発生するなど、一向に収まる気配はなく、県内でも、多数の事業所、学校、病院、介護・障がい者施設等でクラスターが発生しています。

幸いなことに、しょうぶの里では利用者さんや職員の陽性者は出ていませんが、いつ感染者が出てもおかしくない段階にきていると思われます。

加えて、ストレスのたまる我慢の生活を余儀なくされています。ともすれば、イライラしたりギスギスしたりしがちですが、改めて、仲間といることのよさや安心感を大切に、利用者さんたちと一緒にこの困難な状況を乗り越えていきたいなと思ったところです。



書き遊ぶ

「何だコレ!?ミステリー」

ゆうゆう会会長の瀬上です。家族会行事はコロナが落ち着き次第実施します。



3月9日(水)の夕食後、何気なくテレビのチャンネルを変えると、うちのご先祖様の名前が語られているではありませんか。『何だコレ!?ミステリー』という番組でした。

父から、初代又右衛門は伊達騒動に巻き込まれ一度お家断絶に追い込まれたが殿さまの身内のお口利きでお家再興が成り、その後細川家とともに肥後に来たと言聞かされていて、大筋合致していたので安心しました。

私が不審に思ったのはこの投稿者の祖父と父が数十年前に我が家を訪れて本家・分家の確認をしているにも関わらず何も知らされていなかったということです。

昔、『ルーツを探る』というのがアメリカ映画を端に発し日本でも流行しましたが、父から子へ、子から孫へとわかっていることはきちんと伝えておくべきだと思います。

そうしないと、今ある自分は様々な苦難を乗り越えてきたご先祖様のお陰と感謝する気持ちは育ちません。お墓参りに行くと、ああ無縁仏が・・・多い!



平和への祈りを乗せて

しょうぶの里の利用者さんの中には、今のウクライナとロシアの現状を心配され、平和への思いをこめて、ウクライナとロシアの両国旗の配色の折り紙で鶴を折られています。

どうか皆さんの思いが届いて、一日も早く平和な日々が訪れますように・・・

真ん中には
"LOVE"の文字が...

手作りの
折り紙を
作成中

しょうぶの里の
食堂に飾ってあります。

ホワイトデー 写真館



3月14日にホワイトデーのイベントを行いました。今年はクッキーに替わり「ひまわりパン工房」さんの焼きドーナツをみんなでいただきました。コーヒー、紅茶、シナモン、チョコチップ、プレーンの種類があり好きな味のドーナツを手にとられていました。とってもおいしかったです😊



給食室より

4月 イベントメニュー

4月 8日 リクエストメニュー、誕生会

4月 22日 春のピクニック（外注弁当）

4月 26日 リクエストメニュー

桜の季節について

馬肉大国熊本で桜といえば馬肉。特に桜の咲く今の時期が一番おいしいとされています。

熊本や長野以外ではあまり食されませんが、良質の動物性たんぱく質に富み、脂肪が少なく、造血ビタミンのB12も多いことから、貧血や冷え性の人にとっては最良の食品の一つです。

女豪夏目漱石の著書『三四郎』には、「熊本の学生は赤酒を飲む」や「牛肉と馬肉の識別手法」に係る記述がありますが、当時（明治時代）は、馬肉は牛肉のまがいもの（サクラ）として見られていたと想像できます。



栄養士 齋藤憲子

医務室より

新型コロナウイルス感染症の 3回目のワクチン接種と今後

3月4日（金）に熊本市西区の夢眠クリニック熊本西（旧池田内科）様に来里いただき、入所利用者さんのワクチン接種を行いました。

接種翌日に副反応とみられる熱発者が4～5名いらっしゃいましたが解熱薬を服用され回復されました。

また、政府は、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を行う検討に入ったとのこと。3回目接種から6か月以上の間隔を空け、今夏にも開始することを想定しているようです。これまでと同様、公費負担で行う方向です。

熊本県のまん延防止等重点措置も3月21日で終了し、感染者数も一時期よりは減ってきているように感じますが、まだまだ油断できない状況です。

今後も状況がどのように変わっていくかわかりませんが、しっかりと対応していきますのでよろしくお願い致します。

看護師 齋藤

《4月の行事予定》

- ☆ 4日（月） 職員会議、給食委員会
- ☆ 7日（木） 訪問歯科
- ☆ 8日（金） 誕生会
- ☆ 14日（木） 訪問歯科
- ☆ 18日（月） 研修会
- ☆ 19日（火） 訪問リハビリ
- ☆ 21日（木） 訪問歯科
- ☆ 22日（金） 春のピクニック、全館消毒
- ☆ 26日（火） 訪問リハビリ
- ☆ 28日（木） 訪問歯科

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

先日3回目のワクチン接種が終わりました。1回目2回目と副反応とは縁遠く、今回も大丈夫だろうと・・・甘くみてました。接種翌日の午後から悪寒とだるさに襲われ、仕事から帰ると体温を測ると37.6度と久々の発熱。翌朝も多少のだるさは残っていたものの体もほどではないと仕事へ。この日もまた午後から悪寒とだるさ・・・帰宅して熱を測ると37.8度。この日は38.2度まで上がったので解熱剤を飲みさっさと布団へ。あぁ・・・多少の無理も効かない年齢になってしまったのか...(-_-)

テレビでワクチン接種後に熱発した人は熱発しなかった人よりも1.7倍抗体量が多いとか。熱発した甲斐があった！かな(笑)

～～第59号～～

令和4年3月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

